

アイコンサイアム 建設工事



株式会社タイ大林 取締役上級副社長

細江修二

Shuji Hosoe



地下工事全景：逆打ち・アイランド工法を採用



現況：外装工事と内装工事が進行中(2017年末撮影)



全景パース

建設地

タイ王国の紹介

タイ王国はインドシナ半島中央部とマレー半島北部を占め、マレーシア、カンボジア、ラオス、ミャンマーと国境を接する。人口は約七千万人。国民の九〇%以上が仏教を信仰している。三色国旗の青は国王、白は宗教、赤は国家および国民の団結心を表している。国民の心の拠り所は王室と宗教であり、特に二〇一六年に崩御された故プミポン国王(ラマ九世)への忠誠心と崇拜は絶大なものである。東南アジアで唯一、どこの国の植民地になることもなく、独自の文化と共に発展を遂げてきた。

東南アジア最大の自動車生産国である同国は、

自動車や電気機器などの製造業を中心に成長してきたが、将来の更なる高度産業化を目指し、長期ビジョン『タイランド4.0』に基づく政策や人材育成への投資を進めている。

プロジェクトの概要

工事を発注する「アイコン・サイアム社」は、当プロジェクトのために王室系商業デベロッパー「サイアム・ピパット社」と、タイ王国最大の財閥「CPグループ」の出資により設立された。バンコク中心部を流れるチャオプラヤ川西岸の再開発地区に、大型商業施設と七〇階と四〇階の高さを誇る二棟の高層コンドミニアムを建設するプロジェクトにおいて、当社はサイアム・ピパット社から長年の実績と技術力を特に評価され、大型商業施設の建設を受注した。地下二階、地上一二階、延床面積三六・六万平方メートルの施設内には、インドア水上マーケットやブランドショップ街、レストラン街などが並び、映画館、美術館、ジム・プールも併設されている。日系百貨店も進出する予定である。

トピックス

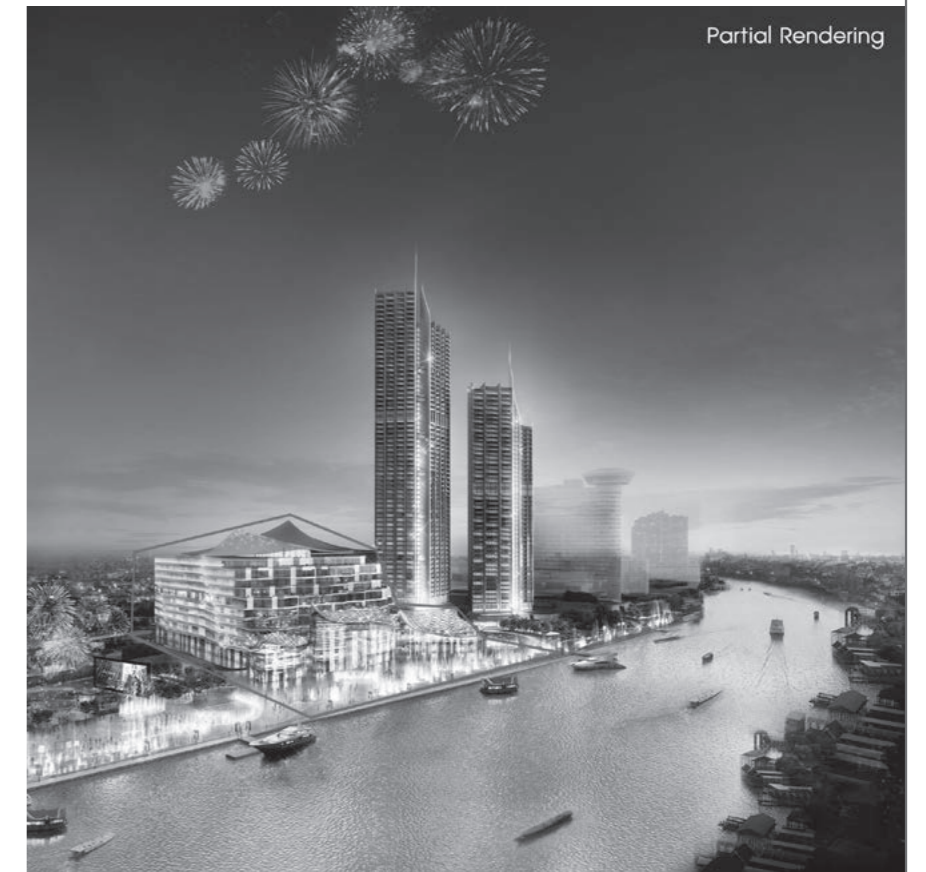
敷地はチャオプラヤ川に隣接している。地下水位が高く地下面積も広大であることから、地下工事においては山留に地中連続壁工法を採用

した。また、逆打工法とアイランド工法の併用というタイでは非常に珍しい工法も採用し、細心の注意を払いながら工事を進めた。地上工事では、躯体工事や外装パネル工事にタワークレーンを九基使用している。内部は吹き抜け空間が多く、鉄骨メガトラスにより無柱空間を実現。また、チャオプラヤ川の景観を店内に取り入れるために大型ガラスカーテンウォールを採用している。全体を通して高い技術力を求められる工事であることから、綿密な施工計画を策定し効率的且つ安全に工事を進めている。現在は作業に一日約二千人が従事。タイ大林のスタッフ百余名と一致団結し、大型プロジェクトに取り組んでいる。

終わりに

着工から約三年。現在は躯体工事がほぼ完了し、仕上げ工事へ移行している。タイ大林と協力会社各社は、これまでの工事を通じ、技術面において貴重な経験を共有することができた。私たちの建設する施設がバンコクの地元住民から外国人観光客まで、多くの人々で賑わうランドマークとなることを願いながら、これからも引き続き安全に工事を進めていく。

現地では、本施設に直結するモノレール形式の新規路線の計画も進んでいる。



Partial Rendering